

普及だより

いわき

2022年
9月発行

No.159

「サンシャインいわき」
笑顔あふれる
農林水産業の未来を目指して

編集・発行

福島県 いわき農林事務所 農業振興普及部

住所 〒970-8026 いわき市平字梅本 15 番地

電話 農業振興課 (0246) 24-6160

電話 地域農業推進課 (0246) 24-6161

電話 経営支援課 (0246) 24-6162

FAX (0246) 24-6196

いわき地域でピーマン生産者が増えています！



ピーマン指導会

いわき地方では、令和2年より三和地区で生産者8名、面積25aでピーマン栽培が始まっています。ピーマンは軽量で扱い易く、露地で栽培ができるため、初期費用が少なく済むといった特徴から、高収益が期待でき、年々生産者が増加しています。

令和3年は、田人、遠野、勿来、川前、小川地区でも新たに栽培が始まり生産者27名面積69aとなりました。

令和4年は栽培者の増加や既存生産者の規模拡大があり、生産者28名面積98aとなり、JA福島さくらいわき地区でピーマン専門部会が立ち上がるなど、ピーマン栽培に本格的に取り組んでいます。

本年度は、5月下旬に定植が行われ、7月下旬より三春町にある共同選果場へ出荷が開始されました。三春町の共同選果場を利用できるため、生産者は管理作業に専念できることも生産者が増加している一因となっています。

ピーマンは、仕事をリタイア後に農業を始めたい方、本格的に就農したい方、高収益園芸作物の導入を検討している水稻農家などにオススメの品目です。興味のある方は是非経営支援課（Tel 0246-24-6162）まで気軽にご相談ください。



ねぎ（秋冬・夏秋）の栽培をしてみませんか？

いわき地方では、冬期温暖で日照の多い気候を生かし、秋冬ねぎの栽培が盛んです。一方、夏期冷涼な山間部等では夏秋ねぎが栽培されています。

ねぎは収穫期以外の管理作業が比較的小さいため、取り組みやすい品目です。ねぎ栽培に興味のある方がおりましたら是非「いわきねぎ部会」へ参加ください！

詳しくは経営支援課（Tel 0246-24-6162）までお問い合わせください。

トルコギキョウの栽培拡大に向けて

トルコギキョウは、切り花の中では単価が比較的高い花ですが、品質の良いものを栽培するには技術が必要な花でもあります。

令和4年2月に「勿来ユーストマ研究会」が発足しました。現在7戸の生産者が所属しており、栽培指導会や県内研修等を行い、栽培技術の向上に努めております！

スマート農業技術であるトルコギキョウ作型適応苗（通常よりも草丈が長くなる）の試作も始まり、いわき地方での栽培がますます盛んになりそうです！

トルコギキョウを栽培してみたいけど、どうすればいいかわからない…という方がおりましたら是非、地域農業推進課（Tel 0246-24-6161）までお問い合わせください。



収穫したトルコギキョウ

「ふくしまならではの花き」を知っていますか？



福島県では、本年度より「ふくしまならではの花き」の需要拡大を推進しているところです。当管内では「いわき地方フラワーネットワーク」を設立し、花き生産者、JA、流通関係者、生花店、花き利用施設等が一体となって、いわき市産花きの認知度向上に取り組み、新たな需要の創出といわき市産花きの持続的な利用拡大を図ろうとしているところです。

本年度の活動として、9月8日に川前町のリンドウ「天の川」の生産ほ場現地視察、10月にいわき中央生花で、生花店向けに花の展示会等を計画しております。

お問い合わせは地域農業推進課（Tel 0246-24-6161）まで。

福島のリンドウ新品種「天の川」栽培してみませんか？

いわき地方では、「JAいわきりんどう生産部会」が、川前町や小川町、四倉町でリンドウ栽培を行っており、8月のお盆から9月のお彼岸を中心に出荷しています。

昨年からは福島県の新しいオリジナル品種「天の川」の出荷も始まり、今まで以上にリンドウの需要が高まることが期待されます。



リンドウ「天の川」

「天の川」は、花弁が開くと中の白い斑点が夜空に浮かぶ星のように見えるという特徴があります。

また、草丈があまり伸びないので、管理しやすいところも特徴の一つです。

リンドウ栽培に興味のある方は、是非、地域農業推進課（Tel 0246-24-6161）までご連絡ください。



令和4年度の「福、笑い」生産に向けて

昨年から県が開発したオリジナル品種「福笑い」の一般栽培が開始され、いわき市では2つの研究会が栽培に取り組んでいます。「福笑い」は「福、笑い」として販売されるための基準があります。

「福、笑い」の基準を満たすため、施肥管理、幼穂形成期の追肥指導等、研究会の皆さんと共に美味しい「福、笑い」が生産されるよう活動しております。今年は天候不順に悩まされる年になりそうですが、農業振興普及部では「福、笑い」の収穫に向けて今後も技術指導を行ってまいります。

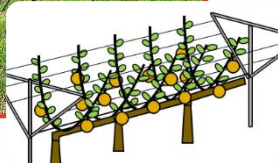
「福笑い」の栽培に興味のある方は地域農業推進課（Tel 0246-24-6161）まで。

※品種名：「福笑い」、商品名：「福、笑い」



「福笑い」現地検討会

日本なし ジョイント栽培導入推進中！



ジョイントV字トレリス栽培

いわき地域の日本なしの生産性を向上させるため、ジョイント栽培の導入を推進しています。ジョイント栽培とは、隣合った樹を接ぎ木（ジョイント）して、複数の樹を直線状の集合樹として仕立てる技術です。この技術を導入することで、作業動線が直線的になるため、効率よく管理することが可能となります。また、従来の栽培方法と比べて、早期に樹の形が出来上がるので、収穫までの期間を短縮することもできます。

いわき地域では、V字トレリスを用いたジョイント栽培の実証ほを設置し、平棚と比較して作業性の改善について比較検討しています。ジョイント栽培に関する技術のほか、日本なし栽培のことについて興味・関心がある方は経営支援課（Tel 0246-24-6162）までご連絡ください。

福島県農林水産部公式 YouTube チャンネル始めました！



福島県農林水産部では、今年度から、県産農林水産物のブランド力強化のため、戦略的に情報を発信していく「福島県農林水産部 FA 宣言」を始めました。

取組の1つとして、福島県農林水産部の公式YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」を開設しました。

「福島ならではの」農林水産物の魅力や生産現場の情報を、職員が所属にとらわれず自由に発信していきます。

是非チャンネル登録してご覧ください！



YouTube チャンネル
二次元コード

～お知らせ～

クリ・ユズ・ギンナンは出荷前に現地確認が必要です！

クリ、ユズ、ギンナンは、過去に高めの放射性物質が検出されたことがあるため、**出荷を考えている場合は、事前に農林事務所による現地確認を受ける**必要があります。

※ すでに現地確認を受けている場合は再度確認を受ける必要はありません。

問い合わせ 福島県いわき農林事務所 農業振興普及部モニタリング担当

TEL 0246-24-6162

モニタリング検査で安全・安心な飼料作物生産

永年生牧草（イタリアンライグラスの経年利用含む）は、ほ場（農家）毎に県のモニタリング検査を受け、結果が暫定許容値以下であることを確認後、流通・利用して下さい。令和3年度以前に、モニタリング検査済みの永年生牧草は引き続き利用可能です。モニタリング検査後、客土等で栽培条件が変わった場合、再度モニタリング検査が必要になります。

モニタリング検査を受けていない牧草を利用した場合、一定期間、牛を出荷できません。飼料作物を譲られる場合は、モニタリング検査済か確認しましょう。

詳細は地域農業推進課（TEL 0246-24-6161）までお問い合わせ下さい。

効果的な鳥獣被害対策は3つの柱から！

近頃、「イノシシの被害が出るようになってきた」、「ハクビシンに収穫物を持っていかれる」等、鳥獣被害が至る所で確認されるようになってきました。今一度、鳥獣被害対策の「3つの柱」を念頭に置き、地域一丸となって効果的な鳥獣被害対策に取り組みましょう！

鳥獣被害対策の「3つの柱」

- ① **個体群管理** 箱罠や狩猟等の捕獲による個体数の管理
- ② **侵入防止対策** 電気柵やワイヤーメッシュ柵等による侵入防止
- ③ **生息環境管理** 放任果樹の伐採や刈払い等による餌場、隠れ家の撲滅

肥料コスト低減に向けた自己チェックリスト

肥料価格が上昇しています。肥料コストを抑えるための取組を進めましょう。

- ① 土壌の状態に応じて、肥料の投入量を減らしたり、比較的安価な低成分の肥料銘柄への変更をご検討ください。
- ② 輸入に頼る化学肥料の原料価格が上昇しています。価格が安定している堆肥など国内資源の利用拡大をご検討下さい。
- ③ 家畜ふん堆肥、もみ殻等を利用した土づくり、地力向上とともに、地域の栽培暦等の見直しと合わせた肥料の削減や低価格銘柄への変更の他、効率的な施肥技術の導入についてもご検討ください。